

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営基本方針

企業経営を通じて社会の進展と文化の向上に寄与することを使命とし、良品廉価・顧客本位の精神でイノベーションによって新しい価値と新しい需要を創造する。

売上高経常利益率
4%以上

ROE
10%以上

配当性向
30%

② 中長期の経営戦略

1. 部門別製品施策・営業戦略

営業・生産一体で「なぜなぜ改善」を推進。2極化・3極化戦略によるお客様ニーズ対応と隙のない製品開発。

3. 食パン品質向上

11月導入技術を2026年1月から「ロイヤルブレッド」に活用。低価格製品やサンドイッチ用にも展開。

2. 食品安全衛生管理強化

AIB国際検査統合基準に基づく教育指導・監査システムを活用。細菌検査と製品表示管理を徹底。

4. 菓子パン・和菓子強化

新規製法・技術による品質向上で「ミニスナックゴールド」などの主力製品や「ランチパック」の売上拡大。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の厳しさ

- ・物価上昇による顧客の節約志向・低価格志向が続く
- ・鶏卵・油脂・包材の高止まりと人件費上昇
- ・小売事業でもコスト上昇による厳しい環境

② 製品競争力強化

- ・新技術による品質向上で取扱店数を拡大
- ・2極化・3極化に対応した製品開発推進
- ・チェーン毎の隙のない価格対応強化

③ 小売事業業績改善

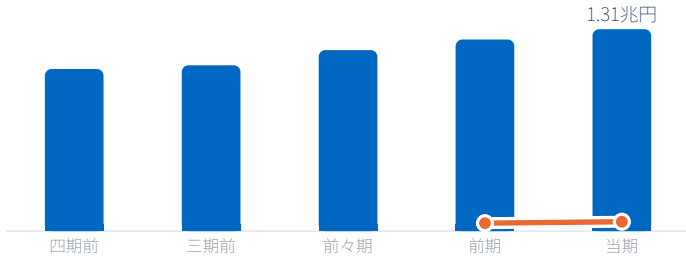
- ・日次・週次・時間管理の経営手法を徹底
- ・戦略商品開発チームとの連携強化
- ・松戸・杉並・大阪ドミナント取組による収益改善

面接で使えるポイント

- ・良品廉価・顧客本位の精神で、パン・菓子など幅広い製品を全国に安定供給し社会に貢献。
- ・西暦2000年以来、食の安全・安心を最優先に、AIB基準に基づく総合的衛生管理体制を整備。
- ・ドラッカー経営理論と「いのちの道」に導かれ、営業・生産一体で新しい価値創造に取り組む。

証券コード 2212

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.31兆円営業利益率
4.7%財務健康度
41点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 53.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
627万円

食料品内 66位/120社

平均年齢
39.6歳

食料品内 95位/121社

平均勤続
15.3年

食料品内 59位/121社

女性管理職
3.1%

食料品内 97位/106社

男性育休
37.9%

食料品内 83位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: J A 全農×山崎製パン×協同乳業 共同開発商品 「ニッポンエー

